

令和4年度における指定管理者の評価結果 目次

施設名	ページ
90 山口市働く婦人の家	
事務事業評価表	1
モニタリング評価表	2
91 山口ふるさと伝承総合センター	
事務事業評価表	3
モニタリング評価表	4
92 山口勤労者総合福祉センター	
事務事業評価表	5
モニタリング評価表	6
93 産業交流スペース	
事務事業評価表	7
モニタリング評価表	8
94 山口市産業交流拠点施設	
事務事業評価表	9
モニタリング評価表	10
95 山口市地域特産物販売促進センター	
事務事業評価表	11
モニタリング評価表	12
96 山口森林ふれあいセンター	
事務事業評価表	13
モニタリング評価表	14
97 道の駅あいお	
事務事業評価表	15
モニタリング評価表	16
98 山口市阿知須健康福祉センター	
事務事業評価表	17
モニタリング評価表	18
99 道の駅「きらら あじす」	
事務事業評価表	19
モニタリング評価表	20
100 山口市上村高齢者女性等活動促進センター	
事務事業評価表	21
モニタリング評価表	22
101 山口市伊賀地高齢者女性等活動促進センター	
事務事業評価表	23
モニタリング評価表	24
102 山口市柚野地域活性化センター	
事務事業評価表	25
モニタリング評価表	26
103 山口市島地温泉ふれあいセンター	
事務事業評価表	27
モニタリング評価表	28
104 山口市徳地三谷交流センター	
事務事業評価表	29
モニタリング評価表	30
105 山口市徳地高齢者・若者活性化センター	
事務事業評価表	31
モニタリング評価表	32
106 山口市柚野農産加工販売所	
事務事業評価表	33
モニタリング評価表	34
107 山口市徳地新規就農者技術習得施設	
事務事業評価表	35
モニタリング評価表	36
108 願成就温泉センター	
事務事業評価表	37
モニタリング評価表	38
109 十種ヶ峰ウッドパーク	
事務事業評価表	39
モニタリング評価表	40
110 阿東ふるさと交流促進センター	
事務事業評価表	41
モニタリング評価表	42
111 山口ふれあい館	
事務事業評価表	43
モニタリング評価表	44
112 山口市南総合センター	
事務事業評価表	45
モニタリング評価表	46

事務事業評価報告書

施設名：山口市働く婦人の家

担当部 商工振興部

担当課 ふるさと産業振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
働く婦人、勤労者家庭の主婦		山口市働く婦人の家の管理運営を行いました。 指定管理者：(一財)山口県婦人教育文化会館(R3～R7) 【内容】・各種講座の開催 ・職業に関する相談、指導業務 ・レクリエーションの場の提供 ・貸館業務 ・施設維持管理業務	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
利用者が、充実した生活を送り、安心して働くことができます。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	就労環境の充実	
	基本事業	勤労者福祉の充実	
事業開始背景等	働く女性や勤労者家庭の主婦の福祉増進に寄与するため、昭和62年4月に開館しました。 平成17年度から指定管理者制度を導入し管理しています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	講座受講者数や利用者数は、コロナウイルス感染症が流行する前と比較すると完全に戻って来ては ませんが、コロナウイルス感染症による休館がなかったことから、昨年度に比べると増加しています。 今後も、適正な人員体制の下、計画的に施設管理、事業運営を行い、利用者が参加しやすく、魅力の ある各種講座の開催や積極的な広報活動を行うことで、講座受講者及び施設利用者の増加を図り成果 向上を目指します。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		働く婦人及び勤労者家庭の主婦を対象とした類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
コスト削減余地		指定管理者制度の運用開始時には、コスト削減に重点をおいていましたが、令和2年度に六巡目の選定 を終え、市民サービスの質の向上に重点をおいていることから、大幅なコスト削減の余地はありません。	
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
【改革概要・改革により期待される効果】 地域の女性の活動拠点施設として、山口県婦人教育文化会館との合築である特性を活かしたサービスの提供や事業を実施することで、利用者層の拡大 や経費削減などの効果が期待されます。 【施設管理運営に対する評価】 施設の設置目的や基本方針に沿った事業の実施、管理運営が適正に行われています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市働く婦人の家

指定管理者: 一般財団法人山口県婦人教育文化会館

指定期間: 令和3年度～令和7年度

評価項目	評価コメント	評価					評点			
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)				
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	施設の設置目的に沿った利用許可がされており、また、適正な施設管理運営が行われている。		☆			3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	クリーンスタッフによる定期的な清掃に加え、職員による施設の維持管理が行われている。法定点検は適切に受けており、備品管理も適正に行われている。		☆			3		
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	市への報告のうえ、適正に再委託が行われている。また、監督も適正に行われている。		☆			3		
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	利用状況に即した人員が配置されている。また、各種講座の受講により、接遇の向上や職員自身のブラッシュアップが行われている。		☆			3		
	地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地域の関係団体とも連携を図っている。		☆			3		
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情があった場合、迅速に対応できるよう、職員の体制や市への連絡体制が整えられている。また、接客対応や利用者への案内、説明等についても適切に行われている。		☆			3		
	労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	勤務体制は労働法規を遵守しており、有給休暇制度など労働環境も充実している。		☆			3		
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	利用率の高い部屋については利用日数の調整をする等、平等利用に留意されている。		☆			3		
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	個人情報の記載された書類は、適切に保管、処理されている。		☆			3		
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	事故を未然に防ぐための安全対策が図られており、避難経路も確保されている。		☆			3		
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急時の組織内の緊急連絡網を備え、危機管理体制を整えている。利用者に対しては各部屋入口に懐中電灯の設置や避難経路の表示を行い緊急時の非難がスムーズに行える体制を整えている。		☆			3		
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	ホームページや市報への掲載等による情報提供を行っている。また、企画内容により企画運営委員からの各地域への案内や、チラシの設置場所を変更する等、対象者の目に止まり易い情報提供をしている。		☆			3	
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	利用者から施設設備に関する要望があった場合、婦人教育文化会館と連携し、対応している。駐車場の込み合い状況の表の作成・掲示や、夜間の安全のためのソーラー式照明を設置。また、平日の夜間講座を増やす等、利用促進への取組がされている。			☆		4	
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	各種講座の参加者にアンケートを行い、利用者ニーズを把握し自主事業に反映している。		☆			3	
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。	施設の設置目的を踏まえ、男女労働者のための仕事と家庭の両立支援のための様々な講座が開催された。		☆			3	
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	各種講座の参加者にアンケートを行い、利用者の意見、要望を次期計画に反映している。		☆			3	
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	休日や夜間の講座開催等、利用促進の取組がされている。		☆			3	
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	年間を通し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた利用のキャンセルや自粛等による収入の減少が見られるが、昨年よりは改善傾向である。		☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	新型コロナウイルス感染症による利用のキャンセルや自粛等による影響で収入が減少しているが、計画的な施設管理・事業運営が行われるとともに、突発的な修繕にも対応されており、安定した経営が行われている。		☆			3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	毎月、施設の利用状況や利用料の状況などが報告されており、経理事務は適正に処理されている。		☆			3	
評点合計		標準					60	加算	1	61
審査結果	施設の設置目的や基本協定・年度協定に沿った事業実施、施設の管理運営に努めており、管理運営の適正性が確保されている。 また、利用者ニーズを反映した幅広い内容の講座を開催し、夜間・土日の講座等、利用者の増加を促進する取組がされている。 貸会場の利用収入はコロナ禍前より減少しているものの、適正な人員体制の下、計画的に施設管理・事業運営を行うとともに、安定した経営がされている。					年度評価		A		
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
総評		A	A				総合評価			

事務事業評価報告書

施設名：山口ふるさと伝承総合センター

担当部 商工振興部

担当課 ふるさと産業振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
市民・施設利用者・観光客		山口ふるさと伝承総合センターの管理運営を行いました。 指定管理者:(NPO法人)山口まちづくりセンター(R1~R5)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)		【内容】 ・伝統産業の伝承と後継者の育成 ・大内塗の実演、体験の実施 ・特産品開発を目指す「西京ふるさと工房」の運営 ・各種講座等の開催 ・貸館業務 ・施設維持管理業務	
利用者や観光客が、本市の伝統産業や地場産業について知ることができます。また、伝統産業の後継者が育成されます。		リニューアルした「まなび館」において、工芸品や特産品の情報発信を行ったほか、職人の技や作品を間近で見ることができる実演コーナーや展示コーナーの運営を行いました。	
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	商工業・サービス業の振興	
	基本事業	匠のまちの創出	
事業開始背景等	長寿社会対策の一環として、また、ふるさとの産業・文化の伝承・観光・学習の施設として、平成30年5月に開館しました。平成17年度から指定管理者制度を導入し管理しています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	講座や季節ごとの展示等を開催し、伝統工芸品等の製作技術や伝統文化の伝承とともに、市民に対する生きがい作りの創出に貢献しました。 施設利用者数等は、新型コロナウイルス感染症が流行する前と比較すると完全に戻ってきてはいませんが、適正に施設管理、事業運営を行い、一定の成果を維持したところです。 今後、拡充した「まなび館」の機能も活用しながら、感染症対策をしっかり行った上で、魅力のある講座等を開催し、成果の向上を図ります。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	周辺では類似の施設等はなく事業再編成は出来ません。	
	コスト削減余地	指定管理者制度の運用開始時には、コストの削減に重点をおいていましたが、平成30年度に六巡目の選定を終え、現在では市民サービスの質の向上に重点をおいていることから、大幅なコスト削減の余地はありません。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
【改革概要・改革により期待される効果】 大内文化特定地域における伝統産業・ものづくりの拠点施設として、伝統工芸を軸とした技術や伝統文化の伝承を行うとともに、利用者のニーズを反映した事業計画の実施により、利用者の増加が期待されます。			
【施設管理運営に対する評価】 施設の設置目的や基本方針に沿った事業の実施、管理運営が適正に行われています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口ふるさと伝承総合センター

指定管理者: 特定非営利活動法人山口まちづくりセンター

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目	評価コメント	評価					評点	
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	運営業務			☆			3	
	維持管理業務			☆			3	
	再委託監督			☆			3	
	人員配置 職員研修			☆			3	
	地域連携				☆		4	
	接客対応			☆			3	
	労働環境			☆			3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用			☆			3	
	個人情報保護			☆			3	
	安全対策			☆			3	
	危機管理			☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大			☆			3	
	利用者満足度	サービス向上			☆		3	
		自主事業			☆		3	
		受託事業			☆		3	
		改善運動			☆		3	
経営状況	収入確保			☆			3	
	収支計画との整合性			☆			3	
	安定経営			☆			3	
	経理状況			☆			3	
評点合計				標準	60	加算	1	61
審査結果	施設の設置目的や基本協定、年度協定に基づき、適切な施設管理運営に努められており、管理運営の適正性が確保されている。 また、地域内施設との共同でのイベント開催等、積極的に地域活動に参加し地域の活性化に貢献している。 自主事業については、施設の設置目的に沿った各種講座を開催し満足度の向上に努めるとともに、市内に点在する伝統的な工芸品、文化、祭り等に関する展示や、伝統工芸を取り入れた体験活動や講座を開催する等、積極的に事業を実施している。					年度評価	A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
		A	A	A	A			
総評							総合評価	

事務事業評価報告書

施設名: 山口勤労者総合福祉センター

担当部 商工振興部

担当課 ふるさと産業振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
勤労者		山口勤労者総合福祉センターの管理運営を行いました。 指定管理者:(株)さんびる(R1~R5) 【内容】・各種講座等の開催 ・レクリエーションの場と機会の提供 ・職業情報の収集及び提供 ・貸館業務 ・施設維持管理業務	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
利用者が、健康でゆとりのある生活を送り、生きがいを持って働くことができます。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	就労環境の充実	
	基本事業	勤労者福祉の充実	
事業開始背景等	雇用保険事業として、雇用能力開発機構が設置したもので、平成7年2月に開館し、平成15年12月に市へ譲渡されました。平成17年度から指定管理者制度を導入し管理しています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	講座受講者数や利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用予約のキャンセル等がありながらも、適正な人員体制の下、計画的に施設管理、事業運営を行い、昨年度に比べて増加しています。今後も、利用者が参加しやすく、魅力のある各種講座の開催や積極的な広報活動を行うことで、講座受講者及び施設利用者の増加を図り成果向上を目指します。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		類似の施設・事業はありますが、勤労者のための施設といった性格上、再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
コスト削減余地	コスト削減余地		指定管理者制度の運用開始時には、コストの削減に重点をおいていましたが、平成30年度に五巡目の選定を終え、現在では市民サービスの質の向上に重点をおいていることから、コスト削減の余地はありません。
	<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
【改革概要・改革により期待される効果】 施設の設置目的である勤労者の福祉の向上に寄与し、また意欲的な自主事業の実施により稼働率や利用者の増加が期待されます。 【施設管理者に対する評価】 施設の設置目的や基本方針に沿った事業の実施、管理運営が適切に行われており、自主事業についても意欲的に実施されています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口勤労者総合福祉センター

指定管理者: 株式会社さんびる

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目	評価コメント	評価					評点		
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3	
	地域連携	・清掃隊など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3	
	労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。			☆			3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計				標準	57	加算		57	
審査結果	施設の設置目的や基本協定、年度協定に基づき、施設の管理運営に努められており、管理運営の適正性が確保されている。 また、施設内の明るい雰囲気作りや細かなニーズの把握に努めるとともに、積極的な情報提供を通じて利用拡大を図るなど、取り組みが有効に行われており、サービス向上への取り組みがされている。 一昨年から続いていた新型コロナウイルス感染症の感染拡大による利用状況の悪化からは、徐々に回復してきており、適正な人員体制の下、計画的に施設管理・事業運営を行うとともに、安定した経営がされている。			年度評価		A			
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
総評		A	A	A	A				

事務事業評価報告書

施設名：産業交流スペース

担当部 商工振興部

担当課 ふるさと産業振興課

対象（誰、何に対して事業を行うのか）		手段（事務事業の内容、やり方、手順）	
市民、施設利用者		<p>○山口市産業交流拠点内に設置する産業交流スペース「Megriba（メグリバ）」において、多様な人材や産業分野の結節点として、交流や連携を促進し、起業創業支援や中小企業支援、産業人材の育成等に取り組みました。</p> <p>○指定管理者制度のもと、民間の実績やノウハウを取り入れた施設の管理・運営を行いました。</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【指定管理者】 株式会社ツクリエ 【指定期間】 令和3年4月1日～令和6年3月31日（3年間）	
ビジネスに関する相談支援やセミナー等の開催により、様々なビジネス交流やマッチング機会を創出し、起業創業希望者や中小企業者、若い世代の雇用の場や起業を創出します。また、市内企業が抱える経営課題を解決し、企業の成長や事業の拡大を図ることができます。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	商工業・サービス業の振興	
	基本事業	新事業・新産業の創造	
事業開始背景等	産業交流スペースは、起業創業支援や中小企業支援等、本市の産業振興施設の充実強化を図ることを目的に、山口市産業交流拠点施設内に整備し、令和3年4月に供用開始したところです。令和3年度から指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行っています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	産業交流スペース「Megriba（メグリバ）」と施設内に入居する山口商工会議所、国や県の支援機関との連携による重層的な起業創業支援や中小企業支援等を積極的に展開することで、成果の向上が見込まれます。	
	<input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
	<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		類似事業がないため、事業の再編はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる（理由→） <input type="checkbox"/> 再編成できない（理由→） <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者制度を導入している施設であり、一定の予算の確保が必要です。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>新型コロナウイルスの影響を多少受けながらも、開館初年度（前年度）の実際に運営を行なってみての気付きや経験、反省等を生かす形で、概ね適正な管理運営が確保されており、その上で、新規企画の立ち上げを含め、様々なテーマでのセミナーや交流会、ビジネスプランコンテストを企画・開催されるなど、とりわけ、ビジネスコミュニティづくりや人材発掘の面で成果が上がっています。引き続き、小郡都市核づくりを牽引する山口市の産業交流の拠点であり、新しいビジネスを創り出す場所として、関係支援機関との連携強化の下、起業・創業支援サービス等の高質化や先進性・独自性を有する企画事業の展開等を通じ、そのポテンシャルを高め、類似施設との差別化を図りながら、更なる付加価値の創造や地域経済の活性化につなげていきます。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：産業交流スペース 指定管理者：株式会社ツクリエ

指定期間：令和3年度～令和5年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施状況	全般			☆			3
		人員配置 職員研修			☆			3
		再委託管理			☆			3
		労働環境			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制		平等利用			☆			3
		安全対策			☆			3
		個人情報保護			☆			3
		危機管理			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	施設の効用発揮	企画事業			☆			3
		自主事業				☆		4
	利用促進	施設内連携			☆			3
		地域連携			☆			3
利用者満足度	周知活動			☆			3	
	利便性向上				☆		4	
経営状況	収支等実績	接客対応			☆			3
		意見把握 業務改善			☆			3
		収入確保			☆			3
		収支状況			☆		3	
		経理状況			☆		3	
評点合計			標準		57	加算	2	59
審査結果	年度を通して、大きな問題なく、適正な管理運営を実現されている。収支の面では、新型コロナウイルスの影響を多少受けながらも、収入の確保（増加）と経費節減等の工夫により、計画通りの収支状況を概ね確保されている。その上で、一部事業の集客や施設内支援機関との連携強化の面で改善の余地が見受けられたものの、複合施設の特長を生かした各種取組他、企画事業及び自主事業の幅広い展開や利用者の利便性向上を意図したサービス提供・工夫など、ソフト面の充実に積極的に取り組まれ、利用人数は目標を大きく上回り、起業相談件数等も概ね目標通りの数値を確保されており、新たな交流や賑わい、ビジネスづくりに寄与されている。		年度評価		A			
【各年度の評価】			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
総評			A	A				総合評価

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

## 事務事業評価報告書

施設名： 山口市産業交流拠点施設

担当部 商工振興部

担当課 ふるさと産業振興課

対象（誰、何に対して事業を行うのか）		手段（事務事業の内容、やり方、手順）	
市民、施設利用者		<p>○山口市ナンバーワンのビジネス拠点づくりを目指し、産業交流拠点施設（KDDI 維新ホール）を起点に、新たなビジネスと交流、賑わいの創出につながる取組を展開しました。</p> <p>○指定管理者制度のもと、民間の実績やノウハウを取り入れた施設の管理・運営を行いました。</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【指定管理者】	
拠点施設が様々な用途に活用されることで、多様な交流やにぎわいが生まれ、地域経済が活性化し、産業交流拠点としての拠点性が高まります。		森ビル都市企画・コンベンションリンケージ共同企業体	
		【指定期間】	
		令和3年4月1日～令和18年3月31日（15年間）	
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	商工業・サービス業の振興	
	基本事業	施策の総合推進	
事業開始背景等	地域に根差した産業の振興、交流人口の拡大及び多様なにぎわいの創造並びに魅力ある都市空間の形成を図り、本市はもとより、本県全体の発展に資するため、令和3年4月に設置した当該施設の管理運営を目的として本事業を実施します。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		産業交流拠点施設（KDDI 維新ホール）を起点として、本市や県全体における新たなビジネスと交流、賑わいの創出につながる取組を積極的に展開することで、成果の向上が見込まれます。
	<input type="checkbox"/> 向上（最高状態維持含む） <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
効率性	<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
	類似事業との再編成		類似事業がないため、事業の再編はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる（理由→） <input type="checkbox"/> 再編成できない（理由→） <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
コスト削減余地		指定管理者制度を導入している施設であり、一定の予算の確保が必要です。	
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>新型コロナウイルスの影響を多少受けながらも、開館初年度（前年度）の実際に運営を行なってみての気付きや経験、反省等を生かす形で、概ね適正な管理運営が確保されており、ソフト面においても、多機能複合施設の特長を生かし、新規企画の立ち上げを含め、様々な事業を実施されるなど、新たな交流や賑わいづくりに貢献できています。</p> <p>引き続き、小郡都市核づくりを牽引する山口市の産業交流の核となる施設として、とりわけ、独自性・新規性を有する企画事業の展開や大規模MICEの誘致・開催、山口・小郡の両都市核間連携による回遊促進施策等に取り組み、更なる付加価値の創造や経済波及効果の発揮につなげていきます。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名：山口市産業交流拠点施設 指定管理者：森ビル都市企画・コパソニック・共同企業体 指定期間：令和3年度～令和17年度

評価項目	評価コメント	評価					評点
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	全般			☆			3
	人員配置 職員研修			☆			3
	地域貢献				☆		4
	再委託管理			☆			3
	労働環境			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用			☆			3
	安全対策			☆			3
	個人情報保護			☆			3
	危機管理			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	企画事業				☆		4
	施設内連携			☆			3
	地域連携			☆			3
	周知活動			☆			3
	利便性向上			☆			3
	接客対応			☆			3
	意見把握 業務改善			☆			3
経営状況	収入確保				☆		4
	収支状況				☆		4
	経理状況				☆		3
評点合計			標準	57	加算	4	61
審査結果	年度を通して、大きな問題なく、安心・安全な管理運営を実現されている。収支の面では、光熱水費の高騰による影響があったものの、開館初年度（前年度実績）を大きく上回る収入を獲得されるなど、安定的な収支状況を確保されている。その上で、企画事業の幅広い展開や利用者の利便性向上を意図したサービス提供、工夫など、ソフト面の充実に積極的に取り組まれ、メインホールや会議室等の貸館施設の稼働率は目標を大きく上回り、各施設の利用人数等も一定の水準を確保されており、新たな交流や賑わいづくりに寄与されている。		年度評価				A
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
総評		A	A				総合評価

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市地域特産物販売促進センター

担当部 農林水産部

担当課 農業振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家 道の駅仁保の郷 利用者		【施設概要】道の駅仁保の郷 ・平成12年10月オープンです。朝市、直売所、飲食提供施設、特産物加工施設、情報発信コーナー等があります。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営を委任し、指導助言を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・特産品等の販売実施に関するを行いました。 ・都市農村交流、地域情報発信、イベント等を行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)		※令和4年度は、機能強化に向けた大規模改修のための基本計画を策定しました。	
地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人々が道の駅を訪れるようになります。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	農林業の振興	
	基本事業	活力ある農山村づくり	
事業開始背景等	農産物等の販売、都市と農村との交流により、地域の振興を図るために設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	農産物の販売額は増加傾向にあるため、引き続き、指定管理者と連携し、道の駅への出荷農家数の増加と品揃えの充実を努め、地域農家の所得向上と道の駅の利用者数の増加を促進することにより成果の向上が見込まれます。 また、本施設は、オープンから20年以上が経過し、施設の老朽化が進行していることから、機能強化を含めた大規模改修の計画を進めています。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	市内には同様の施設が存在しますが、各地域の拠点として地元に着目した管理運営を行っていることから、事業の再編はできません。	
	コスト削減余地	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	
本事業は、指定管理者へ管理運営を委任しており、円滑に運営されていることから、現状手段が適切です。			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
運営業務や維持管理業務、安全対策等適正に処理されています。 農産物の売上は、順調に増加しており、地域の活動拠点として成果をあげています。 そのような中、施設の老朽化、機能強化のための大規模改修の計画を進めているため、工事期間中に農産物直売所をどのように運営するか、農産物の販売額出荷農家数、利用者数の維持について考慮し、検討していきます。			

『指定管理者モニタリング評価』

資料1-2

施設名: 山口市地域特産物販売促進センター

指定管理者: 有限会社仁保の郷

指定期間: 令和元年度~令和5年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
	地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
	危機管理	・防犯、防災、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。				☆		4
	利用者満足度	サービス向上 ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4
		自主事業 ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。				☆		3
		改善運動 ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。				☆		3
経営状況	収支等実績	収入確保 ・収入増加のための取組がなされたか。				☆		4
		収支計画との整合性 ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。				☆		4
		安定経営 ・安定的な経営が行われたか。				☆		4
		経理状況 ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。				☆		3
評点合計			標準		57	加算	5	62
審査結果	山口市地域特産物販売促進センターの指定管理者である有限会社仁保の郷は、施設の管理・情報案内業務等、指定管理者としての業務を適切に実施している。生産者の顔の見える農畜産物の販売やSNSによる積極的な情報発信によって、地産地消・都市農村交流を促進するとともに、地域住民と一体となった運営により、仁保地域を活性化する中心施設の一つとなっている。		年度評価		A			
【各年度の評価】			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価
総評			A	A	A	A		

## 事務事業評価報告書

施設名: 山口森林ふれあいセンター

担当部 農林水産部

担当課 農林整備課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
施設利用者 市民		指定管理制度により、山口森林ふれあいセンターの管理運営を行いました。 指定管理者: 山口県中央森林組合 指定管理期間: 平成31年4月1日～令和6年3月31日 【内容】・施設の維持管理業務 ・貸館業務 ・林業経営及び林業技術の研修に関すること ・林業指導者の養成に関すること	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
林業従事者の林業経営及び林業技術の向上が図られます。 林業指導者が養成されます。 森林の大切さを理解するとともに、森林の良さを生かした交流が進みます。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	森林を守り、育て、生かしたまち	
	基本事業	森林資源を生かした魅力ある地域づくり	
事業開始背景等	林業の振興及び発展を図るため、各種教室やイベントを通じて、市民に森林・林業に広く親しんでもらうため、平成8年に設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、研修等の施設利用は減少しましたが各林業関係団体と連携され、計画的な研修等の実施、施設運営が行われています。また、各種イベントを実施することで、市民の森林・林業への関心が高まりつつあることから、引き続き、参加者のニーズをとらえて、新たなイベント等を企画することにより森林・林業への関心が高まることが期待できます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
	<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		特にありません。
	<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
センターの利用許可、利用料金の徴収・減免、施設及び付属設備の維持管理、経理事務は適正に管理されています。計画的な研修実施など適正な施設運営が行われています。			

『指定管理者モニタリング評価』

資料2-2

施設名: 山口森林ふれあいセンター

指定管理者: 山口県中央森林組合

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目		評価コメント		評価					評点		
				不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	基本協定、年度協定等に基づき、受付事務、利用許可、貸館等、適正な施設の運営が行われている。			☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	事業計画に基づき、施設内外の清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理が適正に行われている。			☆			3	
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	浄化槽の点検、消火施設の点検等が承認を受けた上で第三者に委託されているが、適正な検査が行われている。			☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	受付事務、利用許可、施設の維持管理等に対応できる人員の配置、業務の分担が適正に行われている。			☆			3	
		地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地域の集会所として施設利用させ、地域自治会に一員として参加されるなど、自治会活動等において協働が積極的に行われた。			☆			3	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	施設の場所がわかりにくい、施設への案内板を設置されるなど、苦情に適切に対応されている。			☆			3	
		労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。	労働法規等を遵守されており、良質なサービスを提供するための労働環境も維持されている。			☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	条例に基づき、施設の設置目的、事業に沿った利用が図られている。			☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	基本協定に基づき、個人情報の保護が適切に実施されている。			☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	定期的な点検等、適切な安全対策が実施されている。			☆			3	
		危機管理	・防災、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	消防計画に基づく訓練が定期的に行われている。手指消毒液の設置やアクリルパネルの導入など感染症対策を施されている。			☆			3	
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	森林・林業に関するパネルやパンフレットの掲示等を行っており、施設の設置目的に沿った事業が展開されている。			☆			3
		利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	施設内の樹木に名板を設置するなど、利用者へのサービス向上が図られた。			☆			3
			自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	利用者のニーズを把握され、企画運営されている。新型コロナウイルス感染症対策について、十分に配慮実施されている。			☆			3
受託事業			・受託事業は適切に実施されたか。	受託事業は適切に実施されている。			☆			3	
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。	常に利用者の意見を聴取しており、その意見が施設の管理運営に反映されている。			☆			3	
経営状況	収支等実績	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	計画作成時では、予測不能な新型コロナウイルス感染拡大の影響から施設利用収入が落ち込むなどしたが、支出を最小限に抑えられ、収支は適正に管理されている。			☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	維持管理経費等の削減に努め、安定的な経営が行われている。			☆			3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	経理事務は適正に処理されている。			☆			3	
評点合計				標準		57	加算		57		
審査結果	山口市と指定管理者山口県中央森林組合との間で締結した基本協定書及び年度協定書に基づき、施設の適正かつ円滑な管理運営が実施されている。新型コロナウイルス感染症の影響から、研修の開催等には、困難な面もあるが、感染症対策を十分に実施され、運営されている。			年度評価		A					
【各年度の評価】				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
総評				A	A	A	A				

## 事務事業評価報告書

施設名: 道の駅あいお

担当部 秋穂総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか) 地域農家 道の駅あいお利用者	手段(事務事業の内容、やり方、手順) 【施設概要】道の駅あいお ・平成7年1月オープンです。 ・直売所、飲食提供施設、情報発信コーナー等があります。 【管理内容】 ・指定管理者(秋穂産業振興協会)へ管理運営委託し、指導助言を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・特産品等の販売実施に関するを行いました。 ・都市農村交流、地域情報発信、イベント等を行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。						
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人々が道の駅を訪れるようになります							
総合計画体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">政策</td> <td>産業・観光</td> </tr> <tr> <td>施策</td> <td>農林業の振興</td> </tr> <tr> <td>基本事業</td> <td>活力ある農山村づくり</td> </tr> </table>	政策	産業・観光	施策	農林業の振興	基本事業	活力ある農山村づくり
政策	産業・観光						
施策	農林業の振興						
基本事業	活力ある農山村づくり						
事業開始背景等	農産物等の販売、都市と農村との交流により、地域の振興を図るために設置しました。						
昨年度の実績評価							
妥当性	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">                             上位成果への貢献度  <input type="checkbox"/> 貢献度大  <input type="checkbox"/> 貢献度中  <input type="checkbox"/> 貢献度小  <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業                         </td> <td style="width: 50%;">                             公的関与の妥当性  <input type="checkbox"/> 法定受託事業  <input type="checkbox"/> 妥当性がある  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり                         </td> </tr> </table>	上位成果への貢献度 <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	公的関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり				
上位成果への貢献度 <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	公的関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり						
有効性	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">                             成果状況  <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む)  <input type="checkbox"/> 維持・横ばい  <input type="checkbox"/> 低下・悪化                              成果向上余地  <input type="checkbox"/> 大    <input type="checkbox"/> 中    <input type="checkbox"/> 小  <input type="checkbox"/> なし                         </td> <td>                             近隣に農産物・特産品直売所等の類似施設が増加していますが、農産物売上高は増加傾向にあり、来場者数・客単価も増加しています。農産物を使用した特産品の開発・販売、地域情報の発信やイベントの工夫などにより、成果向上の余地はあると考えます。                         </td> </tr> </table>	成果状況 <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	近隣に農産物・特産品直売所等の類似施設が増加していますが、農産物売上高は増加傾向にあり、来場者数・客単価も増加しています。農産物を使用した特産品の開発・販売、地域情報の発信やイベントの工夫などにより、成果向上の余地はあると考えます。				
成果状況 <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	近隣に農産物・特産品直売所等の類似施設が増加していますが、農産物売上高は増加傾向にあり、来場者数・客単価も増加しています。農産物を使用した特産品の開発・販売、地域情報の発信やイベントの工夫などにより、成果向上の余地はあると考えます。						
効率性	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">                             類似事業との再編成  <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→)  <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→)  <input type="checkbox"/> 類似事業なし                         </td> <td>                             市内には同様の施設がありますが、地域内外の交流拠点施設として地元に着した運営が行われており、統合等は困難です。                         </td> </tr> <tr> <td>                             コスト削減余地  <input type="checkbox"/> 効率化余地あり  <input type="checkbox"/> 現状手段が適切                         </td> <td>                             コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費節減に努めます。                         </td> </tr> </table>	類似事業との再編成 <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし	市内には同様の施設がありますが、地域内外の交流拠点施設として地元に着した運営が行われており、統合等は困難です。	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切	コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費節減に努めます。		
類似事業との再編成 <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし	市内には同様の施設がありますが、地域内外の交流拠点施設として地元に着した運営が行われており、統合等は困難です。						
コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切	コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費節減に努めます。						
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など							
<改革概要> 維持管理費用を抑えた中で、順調に成果をあげていることから、現在の状態を維持していく必要があります。 <指定管理者の評価> 道の駅あいおの指定管理者である秋穂産業振興協会は、限られた施設容量の中で、地域や関係団体と連携することで、道の駅あいおの設置効果を最大限に発揮し、地域振興に貢献しています。							

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 道の駅あいお

指定管理者: 秋穂産業振興協会

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目	評価コメント	評価					評点	
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
	地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
	個人情報保護	・利用者の個人情報保護するための対策が適切であったか。			☆			3
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆		4
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆		3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆		4
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。			☆		3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆		3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆		3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆		3
		経理状況	・月別報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆		3
評点合計				標準	57	加算	2	59
審査結果	道の駅あいおの限られた施設容量の中で、創意工夫のもと運営を行っている。令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大により行動制限がある中で自主事業として感謝祭を行い、集客数を伸ばしている。またメディアやInstagram等のSNSや令和4年度に立ち上げた道の駅ホームページを活用し、南部地域特産品開発会議で開発された地元特産品や地元農水産物の販売を行った。予測不能な原油価格・物価高騰のために発生した費用の増加はあるものの、コロナ禍であっても売り上げを伸ばし、経営状況も安定している。			年度評価				A
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
		A	A	A	A			
総評		総合評価						

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市阿知須健康福祉センター

担当部 阿知須総合支所

担当課 総合サービス課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
阿知須健康福祉センター 市民		阿知須健康福祉センターの管理運営を指定管理で行いました。 1. 指定管理者 山口市社会福祉協議会 2. 施設概要 自発的な健康づくり活動、健やかに笑顔で暮らせるまちづくりの推進のため、平成15年開設 3. 開設時間 午前9時から午後5時まで 4. 主な利用者 健康福祉推進活動団体、個人 5. サービス内容 個人・団体が活動を行うための施設(多目的スタジオ、高齢者娯楽室等)の利用許可や指定管理者による自主事業(高齢者対象の健康増進・交流促進事業など各種福祉事業)の開催	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
健康福祉センターを利活用することで、市民の交流促進、健康増進、地域福祉の充実に努めます。			
総合計画体系	政策	子育て・健康福祉	
	施策	地域福祉の充実	
	基本事業	施策の総合推進	
事業開始背景等	すべての市民が安全で健康な生活を送ることができ、自発的な健康づくり活動を推進するとともに、健やかに笑顔で暮らせるまちづくりの推進を図るため、当センターを設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少していましたが、回復傾向にあります。今後住民ニーズに応じた自主事業や施設の貸し出しを行うことで、より一層の成果向上が見込めます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし			
効率性	類似事業との再編成		類似事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者制度を導入している施設であり、特にありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
指定管理者である山口市社会福祉協議会は、事業計画書、協定書及び年度協定書に基づき適正に管理運営されています。定期利用団体等との日程調整、利用者ニーズの把握や利用者への配慮に努めるとともに、地域活動へ積極的に参加するなど、地域密着型の運営がされていると認められます。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市阿知須健康福祉センター

指定管理者: 社会福祉法人山口市社会福祉協議会

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目	評価コメント	評価					評点	
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務 ・受付事務、利用許可、貸館、鍵錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆		3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆		3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆		3	
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆		3	
	地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆	4	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆		3	
	労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実にしていたか。			☆		3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆		3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆		3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆		3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆		3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆		3	
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆		3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆		3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。			☆		3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆		3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆		3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆		3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆		3
評点合計				標準	57	加算	1	58
審査結果	指定管理者である山口市社会福祉協議会は、設備点検や清掃・軽微な修繕等を確実に実施されており、適正に施設の管理運営がなされている。 また、民生委員、福祉員、母子保健推進員や地域で活動している様々な福祉関係団体と日常的に連携・協働し、地域との密着性を重視した管理運営がなされている。			年度評価				A
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
総評		A	A	A	A			総合評価

## 事務事業評価報告書

施設名:道の駅「きらら あじす」

担当部 阿知須総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)			
地域農家 道の駅「きらら あじす」 利用者	【施設概要】道の駅「きらら あじす」 平成17年3月オープンです。直売所、飲食提供施設、特産品加工施設、情報発信コーナー等があります。 【管理内容】 指定管理者(阿知須まち開発株式会社)へ管理運営を委託しました。 【指定管理者が実施する主な業務】 特産品等の販売、地域情報発信、イベント、施設の維持管理 【ふるさとにぎわい計画(きらら・あじすプロジェクト)】 施設の増築・改修工事、リニューアルオープン記念セミナー、きらら浜内の5施設が連携したイベント「きららにぎわいフェスティバル」を実施しました。			
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が道の駅を訪れるようになります。			
総合計画体系	政策 産業・観光 施策 農林業の振興 基本事業 活力ある農山村づくり			
事業開始背景等	農産物等の販売、都市と農村との交流により、地域の振興を図るために設置しました。指定管理者である阿知須まち開発(株)は、市が700万円を出資しており、出資比率は60.9%の第三セクターです。			
昨年度の実績評価				
妥当性	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">                             上位成果への貢献度  <input type="checkbox"/> 貢献度大  <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中  <input type="checkbox"/> 貢献度小  <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業                         </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">                             公的関与の妥当性  <input type="checkbox"/> 法定受託事業  <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある  <input type="checkbox"/> 見直し余地あり                         </td> </tr> </table>	上位成果への貢献度 <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	公的関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
上位成果への貢献度 <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	公的関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
有効性	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">                             成果状況  <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む)  <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい  <input type="checkbox"/> 低下・悪化                         </td> <td rowspan="2" style="padding: 5px; vertical-align: top;">                             施設の改修工事に伴う売場面積の縮小やイベント回数の減少が影響し農産物販売額、利用者数が減少しましたが、リニューアルオープン後は、売場や休憩コーナー等が拡大しており、農産物販売額、利用者数の増加が期待できます。 引き続き令和元年度に策定した道の駅「きらら あじす」魅力アップ事業計画に基づき、地域の農水産物や特産品の販売拡大を図ります。また、山口きらら博記念公園との近接性を生かした交流人口拡大の取組を進めます。                         </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">                             成果向上余地  <input checked="" type="checkbox"/> 大    <input type="checkbox"/> 中    <input type="checkbox"/> 小  <input type="checkbox"/> なし                         </td> </tr> </table>	成果状況 <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化	施設の改修工事に伴う売場面積の縮小やイベント回数の減少が影響し農産物販売額、利用者数が減少しましたが、リニューアルオープン後は、売場や休憩コーナー等が拡大しており、農産物販売額、利用者数の増加が期待できます。 引き続き令和元年度に策定した道の駅「きらら あじす」魅力アップ事業計画に基づき、地域の農水産物や特産品の販売拡大を図ります。また、山口きらら博記念公園との近接性を生かした交流人口拡大の取組を進めます。	成果向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし
成果状況 <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化	施設の改修工事に伴う売場面積の縮小やイベント回数の減少が影響し農産物販売額、利用者数が減少しましたが、リニューアルオープン後は、売場や休憩コーナー等が拡大しており、農産物販売額、利用者数の増加が期待できます。 引き続き令和元年度に策定した道の駅「きらら あじす」魅力アップ事業計画に基づき、地域の農水産物や特産品の販売拡大を図ります。また、山口きらら博記念公園との近接性を生かした交流人口拡大の取組を進めます。			
成果向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし				
効率性	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">                             類似事業との再編成  <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→)  <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→)  <input type="checkbox"/> 類似事業なし                         </td> <td rowspan="2" style="padding: 5px; vertical-align: top;">                             市内には同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に着した管理運営を行っており、統合等は困難です。                               指定管理者制度を導入している施設であり、特にありません。                         </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">                             コスト削減余地  <input type="checkbox"/> 効率化余地あり  <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切                         </td> </tr> </table>	類似事業との再編成 <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし	市内には同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に着した管理運営を行っており、統合等は困難です。  指定管理者制度を導入している施設であり、特にありません。	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切
類似事業との再編成 <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし	市内には同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に着した管理運営を行っており、統合等は困難です。  指定管理者制度を導入している施設であり、特にありません。			
コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切				
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など				
<改革概要> 阿知須地域の産業振興並びに交流の拠点施設として成果をあげており、効果を維持しつつ維持管理経費が最小限となるよう努めます。				
<指定管理者の評価> 道の駅「きらら あじす」の指定管理者である阿知須まち開発(株)は、施設の維持管理、情報案内業務等、指定管理者としての業務を適切に実施しているとともに、施設の設置目的に沿った自主事業を積極的に行っており、地元農家の所得向上をはじめ、地域振興に貢献しています。				

『指定管理者モニタリング評価』

施設名:道の駅「きらら あじす」

指定管理者:阿知須まち開発株式会社

指定期間:令和3年度~令和7年度

評価項目	評価コメント	評価					評点		
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、料金の徴収、鍵の施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3	
	地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3	
	労働環境	・良質なサービスを提供するため、労働法規等を遵守した適切な勤務態勢がとられているか。 ・休暇制度、職場環境の改善、福利厚生制度等就業状況に配慮がされているか。			☆			3	
	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報保護するための対策が適切であったか。			☆			3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3		
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計				標準	57	加算	2	59	
審査結果	道の駅「きらら あじす」設置当初からの指定管理者である阿知須まち開発株式会社は、地域の状況等を深く理解されており、地元関連団体、特に農産物出荷者との信頼関係が強く、地域や関係団体と積極的な連携が図られている。 令和4年度は施設の増築、改修が行われた期間(9月から3月)が影響し、年間の売上高及び利用者数が減少したが、キャッシュレス決済の導入など利用者ニーズに対応した取組が評価される。経営状況についても概ね良好であり、引き続き安定した経営に努められている。				年度評価			A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
総評		A	A				総合評価		

施設名: 山口市上村高齢者女性等活動促進センター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民</li> <li>・上村住民</li> <li>・上村高齢者女性等活動促進センター</li> </ul>		上村高齢者女性等活動促進センターの管理運営を指定管理者に委託し、適正な維持管理と運営を行いました。 指定管理期間 令和2年度～令和6年度 指定管理団体 上村高齢者女性等活動促進センター運営委員会 開館時間 午前8時30分～午後10時 休館日 原則水曜日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
上村高齢者女性等活動促進センターを地域の活動拠点としてどのように活用・運営するかを住民自身が考えることで、住民主体の地域コミュニティの確立と地域の活性化につなげます。また、地域活動を通じて高齢者や女性が能力を生き、活躍する場を増やします。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	地域活動と市民活動の推進	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等	合併時からの継続事業 徳地上村地域の高齢者及び女性の安定的で継続性の高い活動を基礎として地域の活性化を図り、地域社会の健全な発展に寄与するため、高齢者女性等活動促進センターを設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	人口減少や地理的要因により利用者数の大幅な増加は見込めませんが、今後も地域の高齢者及び女性の活動拠点として一定の役割を果たすものと考えます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	地域毎の事業であり、地域での指定管理としているため、再編成は出来ません。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元団体である上村高齢者女性等活動促進センター運営委員会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市上村高齢者女性等活動促進センター 指定管理者: 上村高齢者女性等活動促進センター運営委員会 指定期間: 令和2年度~令和6年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務 ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
		維持管理業務 ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
		再委託監督 ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修 ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
		地域連携 ・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4
		接客対応 ・事故、苦情に対する対応は適切であったか。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用 ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護 ・利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策 ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
		危機管理 ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上 ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			3
		自主事業 ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
		改善運動 ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。			☆			3
	経営状況	収支計画との整合性 ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営 ・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況 ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準	51	加算	1	52	
審査結果	定期的に地域住民の利用があり、施設の管理運営も適正に行なわれています。		年度評価		A			
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
総評		A	A	A				
		総合評価						

施設名: 山口市伊賀地高齢者女性等活動促進センター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民 ・伊賀地住民 ・伊賀地高齢者女性等活動促進センター		伊賀地高齢者女性等活動促進センターの管理運営を指定管理者に委託し、適正な維持管理と運営を行いました。 指定管理期間 令和2年度～令和6年度 指定管理団体 伊賀地高齢者女性等活動促進センター管理運営委員会 開館時間 午前8時30分～午後10時 休館日 原則水曜日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
伊賀地高齢者女性等活動促進センターを地域の活動拠点としてどのように活用・運営するかを住民自身が考えることで、住民主体の地域コミュニティの確立と地域の活性化につなげます。 また、地域活動を通じて高齢者や女性が能力を生かし、活躍する場を増やします。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	地域活動と市民活動の推進	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等	合併時からの継続事業 徳地伊賀地地域の高齢者及び女性の安定的で継続性の高い活動を基礎として地域の活性化を図り、地域社会の健全な発展に寄与するため、高齢者女性等活動促進センターを設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	人口減少や地理的要因により利用者数の大幅な増加は見込めませんが、今後も地域の高齢者及び女性の活動拠点として一定の役割を果たすものと考えます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
効率性	成果向上余地	地域毎の事業であり、地域での指定管理としているため、再編成は出来ません。	
	<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし	
	コスト削減余地		
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元団体である伊賀地高齢者女性等活動促進センター管理運営委員会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市伊賀地高齢者女性等活動促進センター 指定管理者: 伊賀地高齢者女性等活動促進センター管理運営委員会 指定期間: 令和2年度~令和6年度

評価項目		評価コメント	評価					評点
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)	
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務 ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
		維持管理業務 ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
		再委託監督 ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修 ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
		地域連携 ・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4
		接客対応 ・事故、苦情に対する対応は適切であったか。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用 ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護 ・利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策 ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
		危機管理 ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大 周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3	
	利用者満足度	サービス向上 ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆		3	
		自主事業 ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆		3	
		改善運動 ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。			☆		3	
	経営状況	収支計画との整合性 ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営 ・安定的な経営が行われたか。			☆			3
経理状況 ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。				☆			3	
評点合計			標準	51	加算	1	52	
審査結果	定期的に地域住民の利用があり、施設の管理運営も適正に行なわれています。		年度評価		A			
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目		
総評		A	A	A				
		総合評価						

施設名: 山口市柚野地域活性化センター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民 ・柚野住民 ・柚野地域活性化センター		柚野地域活性化センターの管理運営を指定管理者に委託し、適正な維持管理と運営を行いました。 指定管理期間 令和2年度～令和6年度 指定管理者 柚野地域振興協議会 開館時間 午前8時30分から午後10時 休館日 原則水曜日	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
柚野地域活性化センターを地域の活動拠点としてどのように活用・運営するかを住民自身が考えることで、まちづくりに積極的に参画する機会を増やし、住民主体の地域コミュニティの確立と地域の活性化につなげます。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	地域活動と市民活動の推進	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等	合併時からの継続事業 地域住民の主体的な取組を基礎として、地域の活性化及び自立を図り、地域の健全な発展に寄与するため、柚野地域活性化センターを設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	人口減少や地理的要因により利用者数は減少傾向にありますが、今後も地域の活性化を図るための活動拠点として一定の役割を果たすものと考えます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
効率性	成果向上余地	指定管理者が自主事業を行い利用料を得ることで指定管理料の見直しを図ることができますが、域内の人口減少や高齢化により現状では難しいと考えます。	
	<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
類似事業との再編成	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		地域毎の事業であり、地域での指定管理としているため、再編成は出来ません。
	コスト削減余地		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元団体である柚野地域振興協議会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市袖野地域活性化センター 指定管理者: 袖野地域振興協議会

指定期間: 令和2年度~令和6年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
		地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4
		接客対応	・事故、苦情に対する対応は適切であったか。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。			☆			3
	経営状況	収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
経理状況		・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3	
評点合計			標準	51	加算	1	52		
審査結果	定期的に地域住民の利用があり、施設の管理運営も適正に行なわれています。		年度評価			A			
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
		A	A	A					
総評									

施設名: 山口市島地温泉ふれあいセンター

担当部 徳地総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・市民 ・島地地区住民 ・島地温泉ふれあいセンター		島地温泉ふれあいセンターの管理運営を指定管理者に委託し、適正な維持管理と運営を行いました。 指定管理期間 令和元年度～令和5年度 指定管理者 島地温泉ふれあいセンター運営協議会 開館時間 午前10時～午後8時 休館日 原則水曜日、年末年始	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
島地温泉ふれあいセンターを地域の活動拠点としてどのように活用・運営するかを住民自身が考えることで、住民主体の地域コミュニティを確立させるとともに、地域外の住民との交流機会を増やすことで、地域の活性化につなげます。			
総合計画体系	政策	協働・行政	
	施策	地域活動と市民活動の推進	
	基本事業	活動しやすい環境の整備	
事業開始背景等	徳地地域の旧村5地区(出雲・八坂・柚野・島地・串)において、交通・福祉・教育・産業等の拠点となる拠点施設を整備し、地域コミュニティの活性化と地域社会システムの再構築を図ります。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	利用者数は順調に推移しており、今後も地域コミュニティの活動拠点としての役割を果たすものと考えます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	当該地域における類似の事業はありません。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし コスト削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切	指定管理者の努力による利用者増や自主事業により利益を得ることで、指定管理料の見直しを図ることができます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
地元団体である島地温泉ふれあいセンター運営協議会が指定管理者となり、効率的、弾力的な施設運営や利用者の安全確保など、協定書・仕様書等に基づいた適切な管理運営を行っています。			

【指定管理者モニタリング評価】

施設名: 山口市島地温泉ふれあいセンター 指定管理者: 島地温泉ふれあいセンター運営協議会

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
		再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
		地域連携	・清掃除菌など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。				☆		4
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3
		平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。				☆		4
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。				☆		4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。				☆		4
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。				☆		4
経営状況	収支等実績	収支確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準		54	加算	5	59	
審査結果	自主事業の拡充や各種イベントへの積極的な参加、マスメディアを活用した地域内外の幅広い世代に対する広報活動を展開されており、引き続き安定した利用者数が見込まれます。また、温泉を活用した地域間の交流拠点や地域の生活拠点として、今後更なる役割を担うことが期待できます。		年度評価		A				
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
総評		A	A	A	A				

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市徳地三谷交流センター

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家及び住民 三谷交流センター利用者		【施設概要】 ・平成16年にオープンし、交流室、調理等体験交流室等があります。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営業務を委任し、助言指導を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・地域の集落間の連携事業を行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
地域農家及び住民と都市住民との交流により地域が活性化します。 利用者の農業に対する理解が促進されます。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等		三谷地域は過疎化・高齢化が進行しており、都市農村交流の拠点として平成16年に整備しました。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		一年を通じた多彩なイベントの開催により、地域内外の交流拠点としての機能を果たしています。 地域農家及び住民と都市住民との交流活動の実施は減少していますが、引き続き地域内外の住民の交流促進の活動の実施を検討していくことで、成果の向上が見込まれます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		市内に同様の施設がありますが、都市農村交流の振興の拠点として管理運営をしており、統合等は困難です。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も指定管理者と協議しながら、経費削減に努めます。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
維持管理費用を抑えただで、現在の状態を維持していくことが大切です。三谷交流センターは地域コミュニティの中核施設としての利用のほか、地域内外の住民の交流促進を担う施設です。新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で、地域外からの利用は減少していますが、定期的に地域住民が利用をするなど、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしています。指定管理者である三谷地域づくり協議会は、高齢化に伴い人材が不足していることから、新たなメンバーを確保するなどの組織強化が必要です。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市徳地三谷交流センター 指定管理者: 三谷地域づくり協議会

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目	評価コメント	評価					評点			
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)				
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設等、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	施設の利用許可事務、修繕、鍵施設等、適正な施設の運営が行われた。		☆			3	
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	定期的な清掃や、指定管理者の呼びかけにより、関係自治会の住民による一斉清掃を実施し、施設内外の美化に努めている。また、消防設備点検や浄化槽の維持管理等を実施し、適切な施設の維持管理に努めている。		☆			3	
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	協議会内で役員や、施設維持管理、利用受付、鍵保管者等の役割分担を決定し、適切な人員配置により施設管理や事務処理が行われている。		☆			3	
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	生き生き百歳体操や、各自治会総会、選挙等での利用の際に、年輪の会等の地域団体や、自治会、行政等の関係団体との連携や協働が適切に行われている。			☆		4	
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	利用者からのトラブルや苦情はなかった。トラブルや苦情については未然に防止することを基本とし、苦情があった際の体制も整備されている。		☆			3	
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	利用者に快適に施設を利用してもらう為に、協議会を中心とした地元の住民が協力して施設の管理を実施している。		☆			3	
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の利用にあたっては、条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。		☆			3	
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	利用申請書に記載されている個人情報は、施設できる場所で適切に保管されている。		☆			3	
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	定期的な施設周辺点検をしており、日常の事故防止や安全対策を適切に対応されている。 賠償責任保険に加入し、利用者が怪我をした際の保証に備えている。		☆			3	
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	非常時の連絡網が整備されており、適切な安全管理体制がとられている。 利用者来館時の手指消毒やマスクの着用、施設の定期的なアルコール消毒により新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を徹底して実施している。		☆			3	
	利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	三谷交流センター一斉清掃や令和5年度から開始する三谷地区の巡回診療の説明会等の日程について、指定管理者が周知文書を作成し、該当自治会に全戸配布をして三谷地域内の周知活動を実施して、地域内の利用拡大に努めている。		☆			
		利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、地域外の方の利用が減少しているが、今後の利用向上に向けた検討がなされている。 生き生き百歳体操の実施日に、介護予防講座等の行事を一緒に開催することで、行事に参加しやすい環境づくりに努めている。		☆			3
自主事業			・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	三谷地区の住民が参加することが出来る行事が実施され、三谷地区の集落間の連携が図られている。利用者のニーズを取り入れた協議会主催事業を検討して、施設利用者の増加を図るように努めている。		☆			3	
改善運動			・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	地域の利用者間で協議をして、意見、要望の把握に努め、管理運営の改善が図られている。		☆			3	
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	地域団体の利用が主であり、利用料金の収入は減少傾向にあるが、貸館を実施することで、安定した自主財源の確保に努めている。		☆			3	
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。	施設管理のために適正な支出が行われており、収支状況も順調で、計画的に処理がされている。		☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	電気やガスの利用を必要最小限にし、経費削減に努めている。概ね、安定的な経営がなされている。		☆			3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	毎月、月報を市へ提出している。複数名の監事による監査が行われており、適正に処理されている。		☆			3	
評点合計				標準		54	加算	1	55	
審査結果	年輪の会等の地域団体や自治会、行政等の関係団体と連携し施設利用を行うことで、地域の活性化を図っていることについて評価することが出来ます。 地域内の利用については、一斉清掃や、新たに開始する三谷地区の巡回診療の説明会等の日程について、周知文書を作成し該当自治会に全戸配布をするなど、地域内の利用者拡大に向けた取組がなされています。地域住民の高齢化により、以前のようなイベントの実施が出来ず、地域外からの利用者は減少傾向となっており、地域外の住民との交流事業の継続が困難となってきました。今後は、地域に密着した施設としての利用に重点を置くなど、新たな施設の利用方法を検討していく必要があります。 貸館による自主財源の確保に努め、施設管理のための適正な支出や電気料金等の経費削減を行い、安定的な運営を実施しております。			年度評価					A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
総評		A	A	A	A		総合評価			

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市徳地高齢者・若者活性化センター

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家 高齢者・若者活性化センター利用者		【施設概要】高齢者若者活性化センター(南大門) ・平成3年11月オープンです。 ・展示販売所、研修室等があります。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営業務を委任し、指導助言を行いました。 【指定管理者が実施する主な業務】 ・特産品等の展示販売を行いました。 ・都市・農村交流、イベント開催・参加、高齢者の生きがい創出・社会参加に関するを行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等の維持管理を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が高齢者若者活性化センターを訪れるようになります。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等	徳地地域の豊富な農林水産資源ならびに高齢者に蓄積された体験及び知識を活用した特産品の振興及び若者への伝承により、一次産業を中心とした地域活性化を図ることを目的として設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	現在においても、都市農村の交流拠点としての機能を十分に発揮しておりますが、今後は、季節ごと開催されるイベント企画の工夫や販売品目の幅を広げることで交流拠点機能の向上を図れます。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成	市内には同様の施設がありますが、各地域の拠点として地元に着した管理運営が行われており、統合等は困難です。	
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切	コストを削減する新たな方法はありますが、今後も指定管理者と協議しながら、経費削減に努めます。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
指定管理者である徳地ふるさと資源活用協会は、維持管理費用を抑えた中で一定の成果をあげており、現在の状態を維持していくことが大切と考えています。なお、SNSを活用した情報発信を積極的に実施されており、地域の農業者等の生産意欲向上や社会参加、地域住民と都市住民の交流促進にも貢献しています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少した来場者数はゆるやかに回復傾向であり、販売額についてはSNSやTV放映などで積極的にPRを行い、また、地域内の団体等を対象とした斡旋販売を行うなど、感染防止に配慮した企画・展示を実施したことで、前年度から増加しています。感染防止対策として、手指消毒の徹底、換気、マスク着用の注意喚起、レジ待ちの際の間隔確保など、感染防止に配慮しています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市徳地高齢者・若者活性化センター

指定管理者: 徳地ふるさと資源活用協会

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目	評価コメント	評価					評点		
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。	施設の点検を定期的に行い、異常箇所を発見次第、迅速に修繕等を行っており、適正な施設の運営が行われている。		☆			3
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	毎日のトイレ清掃をはじめ、施設の美化が適正に行われている。また、備品等も良好な状態に管理されている。		☆			3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	専門的知識が必要な保守点検及び年次の定期清掃のみ委託しており、適正な監督等がされている。		☆			3	
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	効率的な人員配置がされている。定期的なミーティング等を通じて職員の啓発が行われている。食品表示や食品衛生の研修を実施している。		☆			3	
	地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地元小中学校の社会科見学や職場体験の受け入れなど地域や関係団体との連携や協働が適切に行われている。		☆			3	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	苦情や利用者とのトラブルは特になが、苦情があった際は迅速に対応できる体制はとられている。		☆			3	
	労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働基準法や労働安全衛生法などの労働関係法令は遵守されている。		☆			3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の利用にあたっては、条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。		☆			3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか。	個人情報第三者の目に触れることの無いよう処理し、保管する際は施設施設で適切に保管されている。		☆			3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	避難訓練を定期的実施しているほか、安全確保のため施設内外の点検をされている。		☆			3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	営業終了後は、資材や運搬用具を店舗内に収容し、夜間については、機械警備を導入しており、適切な防犯対策が講じられている。		☆			3	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	SNS・テレビ・ラジオ・新聞等を活用した広報活動が行われており、地域農産物等の効果的なアピールに努められている。		☆			4
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	POP制作や調理レシピの配布など商品の魅力を伝える取組や季節の催し実施などサービス向上に努めている。また、利用者目線で商品を配置・展示するなど、買う立場を考工夫を行っている。		☆			4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大型イベントが中止される中、感染防止に配慮した、企画・展示を実施されている。		☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	意見ボックスを常設しており、寄せられた意見を運営に反映している。		☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	利用者の安心・安全というニーズに応えるため、取り扱い商品のほとんどが地元産で揃えられている。また、生産者に呼びかけ野菜などの取り扱い数を増やす努力がされている。		☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。	おおむね順調である。		☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	エールやまぐちプレミアム共通商品券や旅々やまぐち割プラスクーポンへの対応などコロナ対策に即応し利用者の利便性を図り、販売収入の安定を図った。		☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	毎月、月報を市へ提出している。税理士のサポート等を受けながら、適正な処理がされている。		☆			3
評点合計				標準		57	加算	2	59
審査結果	維持管理費用を抑えた中で、成果をあげていることから、現在の状態を維持していくことが重要です。 指定管理者である徳地ふるさと資源活用協会は、SNS、テレビ、ラジオ、新聞等各種メディアを活用し広く情報発信に努めており、地元農産物の消費拡大による生産者の意欲向上や社会参加、地域住民と都市住民の交流促進に貢献しています。			年度評価					A
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
総評		A	A	A	A		総合評価		

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市柚野農産加工販売所

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
地域農家 柚野農産加工販売所 利用者		【施設の概要】 ・地元農産物を使った加工品の開発、製造及び地元農林産物の販売を目的として平成17年6月25日に開設しました。 【管理内容】 ・指定管理者へ管理運営を委任し、指導助言を行いました。 【指定管理者の主な業務】 ・農林産物の加工や販売を行いました。 ・都市・農村交流イベント等を行いました。 ・施設の清掃、点検、修繕等を行いました。 ・主に豆腐、もち、漬物、惣菜を加工、販売しました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
地域農産物の消費が拡大します。 地域農家の所得向上に寄与します。 多くの人が加工販売所を訪れるようになります。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	緑と活力あふれる農村の振興	
事業開始背景等		地元農産物の加工販売を目的として施設が整備され、当初の目的を果たすため、施設の維持管理が必要です。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		令和3年度と比較して、加工品販売額が約3割程度減少しています。 引き続き、加工品の内容について見直しを実施することで、成果向上の余地があります。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		市内には同様の施設がありますが、都市農村交流の拠点として管理運営が行われており、統合等は困難です。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		コストを削減する新たな方法はありますが、今後も指定管理者と協議しながら、経費削減に努めます。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
特産品の出荷者である地域住民の生きがい創出、地域コミュニティの拠点として機能していますが、過疎化・高齢化が著しく、出荷者の減少による朝市の出荷品の減少に直面しており、開設当初から比べると来場者が減少傾向にあります。 人気商品である豆腐に続く加工品の開発や、商品の販売販路の工夫などにより収入増加に努めるとともに、地域の行事、都市農村交流イベントに積極的に参加し、利用者の増加や地域の活性化を図ることが大切です。また、運営者が高齢化している為、後継者の育成に取り組んでいくことが必要不可欠です。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市袖野農産加工販売所

指定管理者: 山里農産加工販売所運営協議会

指定期間: 令和4年度~令和6年度

評価項目	評価コメント	評価					評点				
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)					
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運營業務	・受付事務、利用許可、貸館、修繕、鍵施設など、適正な施設の運営が行われたか。	受付事務、利用許可、貸館、修繕については実績が無い。利用申請時や修繕が必要な際は、適切に対応することが出来るように常に準備をしている。鍵の施設については、協議会で責任者を決めて適切に行っている。		☆			3		
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理及び備品管理は適正に行われたか。	定期的な清掃を実施している。防火設備の点検等を実施し、適切な施設の維持管理や備品管理に努めている。		☆			3		
		人員配置 職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	開館時に施設利用者に対応できる人員配置がされている。また、加工販売所の会員間の指導やミーティングを行い、山口市内で開催されている責任者講習会に代表者が出席している。		☆			3		
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。	地域の農家が生産した野菜や黒毛和牛、徳地の和菓子等の特産品を販売することで地域の農家や事業所等と連携することが出来る。			☆		4		
		接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	特段の苦情はなかった。苦情があった際の体制が整備されている。適切な接遇を行い、利用者に対する案内、説明も適切に行われた。		☆			3		
	労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。	労働者の健康と安全について、従事する作業を適切に管理するように努めて、労働関係法令は遵守されている。		☆			3			
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	施設の利用にあたっては、条例、規則等を遵守し、適切に対応されている。		☆			3		
		個人情報保護	・利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか。	個人情報については、鍵のかかるロッカーで適切に保管している。		☆			3		
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	適切な施設の設備点検、施設周辺の点検を行っている。また、水質検査、井戸の塩素濃度測定も行われている。		☆			3		
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	利用前、利用後に施設の設備の点検を行い、定期的に施設周辺の点検を行っている。 利用者来館時の手指消毒やマスクの着用、施設の定期的なアルコール消毒により新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を徹底して実施している。		☆			3		
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のため、効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	山口市ウェブサイトや、山口市や、山口観光コンベンション協会徳地支部が作成した各チラシに山里農産加工販売所の連絡先や営業日時等を掲載し、周知に努めている。		☆			3		
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	冬場に積雪、凍結が多い地域であるため開館することができないが、それ以外の時期については利用促進がなされた。		☆			3		
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	現在、自主事業は実施されていないが、利用者からのニーズを取り入れた協議会主催事業を検討して、施設利用者の増加を図るように努めている。		☆			3		
改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	アンケート回収箱を設置し、出荷者や利用者の意見を反映し、管理運営が行われている。		☆			3				
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	食堂の営業や豆腐、もち、漬物の加工や販売、地元の野菜や黒毛和牛、和菓子等特産品の販売を継続し、収入の増加に取り組んでいる。		☆			3		
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。	開館時間の短縮等が影響し、当初収支計画に比較すると収支ともに減少しているが、電気料金やガス料金等の固定経費の削減に努めて収支は適正に管理されている。		☆			3		
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	開館時間の短縮等が影響し、収支ともに減少している。経費の削減に努め、商品や食堂メニューの見直しなどの工夫を行い、引き続き安定的な運営をしていく必要がある。		☆			3		
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	毎月、月報を市へ提出している。複数名による監事の会計監査が行われており、適正に処理された。		☆			3		
評点合計				標準		54	加算	1	55		
審査結果	手作りの加工品の生産や販売、黒毛和牛や野菜、和菓子等の特産品の販売と食堂の営業を通じて、農家や事業所等と連携し地域の活性化を図っています。 臨時休館については、市のウェブサイトで周知を図っていますが、開館日時や、食堂メニューの内容、商品等の周知について広報手段が少ない。効果的な広報を検討、実施して利用者サービスの向上を図る必要があります。 開館時間の短縮等の影響により収支ともに減少傾向ですが、加工品等の生産や販売、食堂の営業を継続し、電気料金等の経費削減に努めることで、安定的な運営を実施しております。商品や食堂メニューの見直しを行い、地域ならではの魅力的な内容にすることで、施設利用者の増加を図り、地域の活性化や安定的な運営を継続していくことが必要です。			年度評価					A		
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目					
総評		A					総合評価				

## 事務事業評価報告書

施設名：山口市徳地新規就農者技術習得支援施設

担当部 徳地総合支所

担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
山口市徳地新規就農者技術習得支援施設 山口市徳地農業公社 新規就農希望者		当該施設で、新規就農希望者(認定就農者)を対象に栽培に必要な技術等を習得するための実践的な栽培研修を行います。管理運営については、山口市徳地農業公社を指定管理者として行いました。 【施設概要】 敷地面積：8,014㎡ 管理棟 木造2階建 栽培ハウス(イチゴ) 2棟 栽培ハウス(ホウレン草) 2棟 育苗ハウス 2棟 栽培ほ場 2,000㎡	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
当該施設で研修を行った新規就農者が地域の中心的担い手農家として活躍しています。			
総合計画体系	政策	市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち	
	施策	農業がもたらす多彩な恵みを生かしたまち	
	基本事業	多様な担い手の育成・支援	
事業開始背景等		若い農業者の確保・育成と定住を目的に平成12年に設置した施設であり、目的達成のため施設の適切な管理・運営を図る必要があります。	
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		施設の設置目的に従い新規就農を希望する研修生を継続して受け入れ、研修終了後就農につなげることで、新規就農者の増加を図ることができます。引き続き、研修内容の見直し等を行いながら、研修生の受け入れを行います。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		対象及び目的等が限定されており、類似の事業はありません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		ありません。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>中山間地域で人口減少、高齢化の進展という現状を踏まえ、関係機関と連携して、農地の保全管理、担い手の育成に取り組んでおり、当該施設で研修を行った研修生が、現在、地域の中心的担い手として活躍しています。</p> <p>しかしながら、農業を取り巻く環境の変化に伴い、新規就農希望者が農業経営を開始するために必要な栽培技術や知識を習得する方法もSNSの活用など多様化しており、また研修作物も限定されることから研修生の確保が困難となってきています。県外や首都圏からの短期農業体験の受け入れなどを行っておりますが、研修生の確保には至っていない状況です。引き続き、研修内容の見直し等を行いながら、研修生の確保に取り組んでいきます。</p> <p>また、施設整備、農場事業の対象や意図を見直し、施設の管理運営内容を検討する必要があります。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市徳地新規就農者技術習得支援施設 指定管理者: 公益社団法人山口市徳地農業公社

指定期間: 令和元年度～令和5年度

評価項目		評価コメント	評価					評点	
			不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運營業務	・受付事務、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3
		維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3
		人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3
		地域連携	・地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3
		労働環境	・良質なサービスを提供するための労働環境は充実していたか。			☆			3
	平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3
		個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆			3
		安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。				☆		4
		危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3
		利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆	
利用者満足度	サービス向上		・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			3
	自主事業		・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
	受託事業		・受託事業は適切に実施されたか。			☆			3
	改善運動		・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は、当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			2
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計			標準		54	加算		54	
審査結果	公益法人山口市徳地農業公社は、農業経営に必要な技術及び知識の習得支援が行えるように新規就農者の受入体制を万全とし、施設の維持管理及び適時適切な修繕を行っています。また、農作業受委託による地域農業の支援や地域に実践的な農業知識技術向上研修、栽培技術の普及等を行い、地域農業を持続的に発展させる仕組み作りを適切に実施しています。農作業体験のイベントを開催したり、中学校や大学生の施設見学の受け入れにより、地域の学校などと連携を図ることで、地域農業の振興、地域コミュニティの維持、強化に貢献しています。		年度評価		B				
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
総評		A	A	A	B				

## 事務事業評価報告書

施設名：願成就温泉センター

担当部 阿東総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
願成就温泉センター		指定管理者 (株)願成就 令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
施設利用者の満足度が向上します。 施設利用者が増加します。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり	
	基本事業	観光基盤の整備	
事業開始背景等	温泉を利用して利用者の健康増進を図るとともに、一般観光客との交流を通じて活力ある地域づくりにつなげることを目的に平成7年7月7日に開設し、その後、道の駅として登録されました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、利用者数及び入浴利用料は目標を下回っています。関係機関と連携しながら、課題解決に向けて、現状分析を行い、利用者の増につながる取り組みを実行することにより、成果の向上が見込まれます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		隣接町に類似の施設があります。
	<input checked="" type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		指定管理者仕様書により、管理委託費の上限額を示していることから、一定の予算確保は必要です。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
島根県津和野町との県境に位置した道の駅であり、温泉・足湯の入浴や阿東地域の特産品の購入・レストランでの飲食が可能な施設です。新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少、イベント中止など厳しい状況が続いていますが、感染防止対策を徹底し、可能な範囲でイベントを企画されたり、地元の食材や商品を活用したレストランメニューや売店の品揃えを工夫されたりしており、利用者数増加に向けた取り組みを実施されています。 今後、関係機関との連携を強化し、地域性を意識したイベントの企画やレストランメニュー、売店の品揃えを工夫するなど利用者の増につながる取り組みを実行することにより、成果の向上が見込まれます。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 願成就温泉センター

指定管理者: 株式会社願成就

指定期間: 令和2年度～令和4年度

評価項目	評価コメント	評価					評点				
		不履行多数	一部不履行	良好	優秀	特に優秀					
		(1点)	(2点)	(3点)	(4点)	(5点)					
施設の適正な管理運営の確保	管理運営の実施	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適切な施設の運営が行われたか。	基本協定に基づき、適正に施設を運営するとともに、仕様書に定めるサービス提供を適切に行っている。			☆			3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。	仕様書に示されている項目の清掃、保守点検が行われている。備品についても適正に管理されている。			☆			3		
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。	清掃や浄化槽の点検等は第三者に委託されているが、担当者が確認を行う等、適正な監督がなされている。			☆			3		
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。	不足なく人員配置がされており、基本的な接客や安定した施設管理運営に向けた指導・研修等の取り組みがされている。			☆			3		
	地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協力が適切に行われていたか。	食材、売店の仕入れやイベントの開催など地域や関係団体等と連携した取り組みがされている。			☆			3		
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。	大きな苦情や事故等はなく、アンケート調査を実施するなど、利用者からの要望に対応できるよう努めている。			☆			3		
	労働環境	・良質なサービス提供するための労働環境は充実していたか。	休暇や福利厚生について問題なし。			☆			3		
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。	適切な対応をされている。			☆			3		
	個人情報保護	・利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。	山口市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護並びに関係書類の適正な管理に努めている。			☆			3		
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。	日々の設備点検や、入浴者の体調に注意するなど、適切な対策をとられている。			☆			3		
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。	緊急連絡網を整備し、自主訓練を実施するなど危機管理体制は適正に整備されている。緊急時事業継続計画(BCP)を作成中。			☆			3		
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。	ホームページの随時更新など施設のPR及び情報提供に努めている。			☆			3	
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。	利用者が安心して施設を利用できるよう、施設内の消毒、換気の徹底などコロナ対策の取り組みがされている。また、近隣観光施設等における割引券の配布や利用促進の取り組みがされている。			☆			3	
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	コロナ感染症の影響で計画したイベントを中止せざるを得ない状況が続いているが、その中でもシクラメンフェアやイルミネーションライトアップ、ローズ風呂などを実施し利用促進が図られている。			☆			3	
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。	施設利用者へのアンケートを実施し、苦情などに対応している。			☆			3	
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。	安心して施設を利用できるよう、コロナ感染症対策を徹底している。利用者の意見を取り入れ、レストランでの阿東和牛を使用したメニューの導入やメニュー数増加、売店で積極的に地元産品を取扱うなど、利用者増加、収入増加が図られている。			☆			4	
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。	コロナ感染症の影響もあり、売上が減少し、燃料費高騰の影響により、光熱費が増加しており収支状況は当初収支計画を下回っている。			☆			3	
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。	コロナ感染症の影響で臨時休館やイベント中止など売上は減少しているが、雇用調整助成金の活用や市の営業補償などにより、概ね安定的な経営が行われている。			☆			3	
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。	利用者報告や経理事務等は、適正に処理されている。			☆			3	
評点合計						標準	57	加算	1	58	
審査結果	管理運営体制については、適正な人員配置がされており、業務に必要な研修・教育が行われている。新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減っている。また、臨時休館やイベントの中止など厳しい状況が続いているが、感染症防止対策を徹底したうえで可能な範囲でイベントを企画されている。また、レストランメニューや売店の品揃えの工夫に取り組みされて、利用者増加に向けた取り組みが実施されている。今後、更なる利用者増加に向けて地域性を意識したイベントの企画やレストランメニュー、売店の品揃えを工夫するなどにより、利用者の満足度を向上させる取り組みを期待する。			年度評価		A					
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目					
総評		A	A	A	-	-	総合評価		良好		

## 事務事業評価報告書

施設名: 十種ヶ峰ウッドパーク

担当部 阿東総合支所

担当課 地域振興課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
十種ヶ峰オートキャンプ場 十種ヶ峰スキー場		指定管理者 (株)願成就 令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年) ・十種ヶ峰オートキャンプ場(営業期間3月～11月末) ・十種ヶ峰スキー場(営業期間12月末～3月末 降雪時のみ) 一帯エリア(ウッドパーク)の施設として、一括指定管理を行いました。	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
施設利用者の満足度が向上します。 施設利用者が増加します。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	豊かな地域資源を生かした観光のまちづくり	
	基本事業	観光基盤の整備	
事業開始背景等	恵まれた豊かな自然の中に市の体育及び滞在型レクリエーション活動の場を確保し、市内外の交流を促進するなどの目的で、十種ヶ峰エリアにオートキャンプ場とスキー場を運営しています。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況		新型コロナウイルス感染症や大雨等の悪天候の影響もあり、キャンプ場は利用数が減少しました。スキー場は降雪が少なく、リフト営業は延べ14日でした。天候や気象条件に左右されにくい、施設全体を活用した魅力ある内容を提供することで、成果の向上が期待できます。
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地		
		<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	
効率性	類似事業との再編成		徳地エリアに、市直営のオートキャンプ場がありますが、そこは水辺であることを主な魅力の一つとしていることに対し、十種ヶ峰は山を中心としていることから、それぞれ別の魅力を持った施設であり、再編できません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		現行の施設運営で、より成果を上げるには、老朽設備の更新・修繕等を含め、相応の費用が必要と考えます。
<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切			
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
<p>十種ヶ峰の中腹に位置することを特色としたキャンプ施設と、県内唯一のスキー場が併設された施設です。近年、暖冬で積雪不足のため、スキー場の営業ができない年も増えていますが、天候・気候に左右されにくい、施設全体を活用した魅力ある内容を提供することで、成果の向上が見込まれます。</p> <p>令和4年度にケビンを新設したことにより、近年のキャンプ場に求められる多様化・個性化するニーズに対応したサービス提供体制を強化できたので、関係機関と連携しながら、現状分析を行い、利用者増につながる取り組みを実行していきます。</p>			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 十種ヶ峰ウッドパーク

指定管理者: 株式会社順成就

指定期間: 令和2年度～令和4年度

評価項目	評価コメント	評価					評点		
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	基本協定に基づき、適正に施設を運営するとともに、仕様書に定めるサービス提供を適切に行っている。			☆		3		
	維持管理業務	仕様書に示されている項目の清掃、保守点検が行われおり、軽微な修繕は随時行っている。また、備品についても台帳を整理し、適正な管理が行われている。			☆		3		
	再委託監督	再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆		3		
	人員配置職員研修	適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆		3		
	地域連携	清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆		3		
	接客対応	苦情に対する対応は適切であったか。 接客対応は適切であったか。 利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆		3		
	労働環境	良質なサービス提供するための労働環境は充実していたか。			☆		3		
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆		3		
	個人情報保護	利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか。			☆		3		
	安全対策	日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆		3		
	危機管理	防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆		3		
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	施設目的達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆	3		
	利用者満足度	サービス向上	利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆	3		
		自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆	3		
経営状況	収支等実績	収入確保	収入増加のための取組がなされたか。			☆	3		
		収支計画との整合性	収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆	3		
		安定経営	安定的な経営が行われたか。			☆	3		
		経理状況	月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆	3		
評点合計					標準	57	加算		57
審査結果	施設管理については、清掃、設備の保守等に問題はなく、良好に管理されている。管理運営体制については、適正な人員配置、業務に必要な研修等も毎年実施されている状況である。経営状況については、今年度は梅雨時期の大雨、夏季の台風、冬季の積雪不足など天候に恵まれなかったが、昨年度より売上は伸びている。夏季のゲレンデの有効活用、マウンテンバイクの利用者増の取り組みを進めるなど、天候に左右されにくい安定的な経営が引き続き求められる。今年度建設したケビンを活用し、今後の利用者の増につながる取り組み実行することにより、成果の向上が見込まれます。				年度評価			A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
		A	A	A	-	-			
総評	施設管理については、清掃、設備の保守等に問題はなく、良好に管理されている。管理運営体制については、適正な人員配置、業務に必要な研修等も毎年実施されている状況である。経営状況については、天候に左右されることで、売上に反映している。夏季のゲレンデの有効活用、マウンテンバイクの利用者増の取り組みを進めるなど、天候に左右されにくい安定的な経営が引き続き求められる。今年度建設したケビンを活用し、今後の利用者の増につながる取り組み実行することにより、成果の向上が見込まれます。ケビンの利用状況を見て、今後残りのハオ(モンゴルテント)からケビンへ移行を検討していきたいと思えます。						総合評価	良好	

※総合評価は、指定期間の総括として最終年度に行います。

施設名: 阿東ふるさと交流促進センター

担当部 阿東総合支所  
担当課 農林課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
市民等利用者		<input type="checkbox"/> 指定管理者へ運営維持管理業務を委任しました。 <input type="checkbox"/> 指定管理者へ指導助言を行いました。  ・指定管理者 NPOあとう 指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
市民等が農業に触れ合う機会を創出し、農産物への理解を促します。多くの人がふるさと交流促進センターを訪れます。			
総合計画体系	政策	産業・観光	
	施策	農林業の振興	
	基本事業	活力ある農山村づくり	
事業開始背景等	県農業試験場徳佐寒冷地分場の廃止に伴い、都市農村交流の拠点として施設が整備され、当初の目的を果たすため、施設の維持管理が必要です。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度	公的関与の妥当性	
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性	成果状況	令和4年度は、昨年から続いているコロナ禍の中で、感染防止対策を講じて交流事業も実施し、交流人口が回復傾向となりました。年間を通じた都市と農村の交流事業を実施することにより、成果向上が望めると考えています。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
効率性	成果向上余地	市内には同様の施設がありますが、農園等の施設利用者の多くは、自宅からの距離が近いことを条件としているため、施設の廃止、統合は適当でないと考えます。	
	<input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
	類似事業との再編成		
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地	コストを削減する新たな方法はありませんが、今後も経費削減に努めます。	
	<input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 現状手段が適切		
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
阿東ふるさと交流促進センターの指定管理者であるNPOあとうは、施設の維持管理業務を適切に実施しており、また都市農村交流等の事業を通じて地域の活性化に貢献しており、当センターを有効に管理運営しています。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 阿東ふるさと交流促進センター

指定管理者: NPOあとう

指定期間: 令和3年度～令和7年度

評価項目	評価コメント	評価					評点	
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)		
施設の適正な管理運営の確保	運営業務 ・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
	維持管理業務 ・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3	
	再委託監督 ・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
	人員配置職員研修 ・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3	
	地域連携 ・清掃除など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3	
	接客対応 ・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3	
	労働環境 ・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用 ・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
	個人情報保護 ・利用者の個人情報を守るための対策が適切であったか。			☆			3	
	安全対策 ・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
	危機管理 ・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。				☆		4	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大 周知活動 ・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3	
	利用者満足度	サービス向上 ・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆		3	
		自主事業 ・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆		3	
		体験交流事業 ・体験交流事業は適切に実施されたか。				☆		4
		改善運動 ・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収入確保 ・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3	
	収支計画との整合性 ・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3	
	安定経営 ・安定的な経営が行われたか。			☆			3	
	経理状況 ・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3	
評点合計		標準		60	加算	2	62	
審査結果	阿東ふるさと交流促進センターの指定管理者であるNPOあとうは、老朽化した建物であるものの、施設の維持管理業務を適切に実施されている。また、都市農村交流等の事業を通じて地域の活性化に貢献され、利用者のサービス向上への取り組みも実施されている。経営状況については、概ね良好の評価とした。	年度評価			A			
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価	
総評		A	A					
総評		—						

事務事業評価報告書

施設名: 山口ふれあい館

担当部 教育委員会事務局

担当課 社会教育課

対象(誰、何に対して事業を行うのか)		手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
・山口、防府圏域住民 ・山口ふれあい館		指定管理者制度を導入し、経費削減を行いながら、施設の管理運営をし、サービスの向上に努めました。 ・指定管理者 株式会社さんびる ・指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			
施設が常に適正に管理・運営されることで、市民が快適に利用できます。			
総合計画体系	政策	02 教育・文化・スポーツ	
	施策	02 生涯学習・社会教育の推進	
	基本事業	03 生涯学習施設の整備・充実	
事業開始背景等	山口・防府圏域の交流と人口定住を図るため、国土庁の田園都市構想モデル事業の採択を受け昭和59年に設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度		公的関与の妥当性
	<input type="checkbox"/> 貢献度大 <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
有効性	成果状況	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴う自主事業の中止はありましたが、前年度を上回る利用状況となっております。	
	<input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input checked="" type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化		
	成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし		
効率性	類似事業との再編成		市施設には他に温泉施設がありますが、当施設は山口・防府圏域の住民を対象としているため、対象が異なります。また、陶芸教室を始めとした生涯学習施設を併設しており、創造的活動の場でもあるため、他施設とは利用者が重複しておらず、再編成はできません。
	<input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし		
	コスト削減余地		
<input checked="" type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切		平成29年度にカラオケ機器を一新し、より一層のPRをすることで利用者の増加を図り、収入増の取組に努めています。現状では、収入のほとんどが温泉利用者からです。源泉は冷泉のため、燃料費の高騰により収入があがらないまま経費のみが増加します。今後は、収入源の分散化(温泉利用者、スタジオ貸し出し等)を図る必要があります。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
指定管理者による施設の運営は適切に行われていますが、閉館から約40年が経過し、導入から20年以上が経過した空調設備が故障により稼働停止するなど、経年劣化による機器の不具合が生じています。施設の円滑な運営および長寿命化のためにも、計画的な更新、修繕が必要です。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口ふれあい館

指定管理者: 株式会社さびる

指定期間: 令和3年度~令和7年度

評価項目	評価コメント	評価					評点		
		不履行多数 (1点)	一部不履行 (2点)	良好 (3点)	優秀 (4点)	特に優秀 (5点)			
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施錠、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3	
	地域連携	・清掃除菌など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3	
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3	
	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか。			☆			3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。			☆			3		
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			4
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			4
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。			☆			3
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聞き、管理運営に反映されたか。			☆			4
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。			☆			3
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計				標準	60	加算	3	63	
審査結果	各種マニュアルの整備や定期的な研修の実施、ミーティングでの情報共有等により、安定的な管理運営及びサービスの向上に努めています。利用者からの意見や苦情に対して早急な対応を行い、対応結果を館内掲示で周知するなど、利用者に関われた管理運営がされています。 また、検温、消毒の声かけや入浴人数の制限を行うなど、館内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に努めました。併せて、ホームページのリニューアルや、自主事業の再開等、周知および利用者増加のための取組も行われています。空調設備の故障がありました。状況に合わせて対応を行っています。 新型コロナウイルス感染症による減収や原油価格、物価高騰、空調設備故障による光熱費増加の影響がありますが、減収補償もあり、安定的な経営が行われました。自主事業の再開やポイントカードの導入等、収入増加にも努められています。			年度評価				A	
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
総評		A	A					総合評価	

## 事務事業評価報告書

施設名：山口南総合センター

担当部 教育委員会事務局

担当課 社会教育課

対象(誰、何に対して事業を行うのか) 市民 山口南総合センター		手段(事務事業の内容、やり方、手順) 指定管理者制度を導入し、経費削減を行いながら、施設の管理運営をし、サービスの向上に努めました。 ・指定管理者 株式会社 三宅商事 ・指定管理期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年)	
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 施設が常に適正に管理・運営されます。			
総合計画体系	政策	教育・文化・スポーツ	
	施策	生涯学習・社会教育の推進	
	基本事業	生涯学習施設の整備・充実	
事業開始背景等	山口市南部地域における学習活動・レクリエーション活動等の拠点施設として、平成2年に旧自治省のリーディングプロジェクトの認定を受けたウイングエイティ事業の一つとして設置しました。		
昨年度の実績評価			
妥当性	上位成果への貢献度 <input type="checkbox"/> 貢献度大 <input type="checkbox"/> 貢献度中 <input type="checkbox"/> 貢献度小 <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	公的関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 妥当性がある <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	有効性	成果状況 <input type="checkbox"/> 向上(最高状態維持含む) <input type="checkbox"/> 維持・横ばい <input type="checkbox"/> 低下・悪化 成果向上余地 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> なし	指定管理者として、これまでのノウハウを生かした事業が行われましたが、新型コロナウイルス感染症対策として施設の使用制限があったこともあり、施設の利用件数は前年度比1.7ポイント低下と横ばいの状況です。 国による新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針が廃止され、制限なく施設を使用することができることから、今後、成果の向上が見込まれます。
効率性	類似事業との再編成 <input type="checkbox"/> 再編成できる(理由→) <input type="checkbox"/> 再編成できない(理由→) <input type="checkbox"/> 類似事業なし	市内には他にも同様の施設はありますが、設置目的や立地特性、また、現在の利用者の利便性を踏まえると、再編成できません。	
	コスト削減余地 <input type="checkbox"/> 効率化余地あり <input type="checkbox"/> 現状手段が適切	特にありません。	
改革概要・改革により期待される効果、施設管理運営に対する評価など			
引き続き、指定管理者による適切な施設の管理・維持を進めます。 建設から30年を経過しており、段階的に施設の長寿命化を図ってきたところですが、設置から相当な年数を経過している機器等もあることから、計画的に改修を進める必要があります。			

『指定管理者モニタリング評価』

施設名: 山口市総合センター

指定管理者: 株式会社 三宅商事

指定期間: 令和3年度～令和7年度

評価項目	評価コメント	評価					評点		
		不履行多数	一部不履行	良好	優秀	特に優秀			
		(1点)	(2点)	(3点)	(4点)	(5点)			
施設の適正な管理運営の確保	運営業務	・受付事務、利用許可、貸館、鍵施設、修繕など、適正な施設の運営が行われたか。			☆			3	
	維持管理業務	・清掃、保守点検など、施設の維持管理、及び備品管理は適正に行われたか。			☆			3	
	再委託監督	・再委託先に対する監督等が適正に行われたか。			☆			3	
	人員配置職員研修	・適正な人員配置、職員の育成・指導が行われたか。			☆			3	
	地域連携	・清掃など、地域や関係団体等との連携や協働が適切に行われていたか。			☆			3	
	接客対応	・苦情に対する対応は適切であったか。 ・接客対応は適切であったか。 ・利用者に対する案内、説明は適切であったか。			☆			3	
	労働環境	・良質なサービス提供をするための労働環境は充実していたか。			☆			3	
平等利用、安全対策等、危機管理体制	平等利用	・市民の平等利用に関する基本姿勢は適切であったか。			☆			3	
	個人情報保護	・利用者の個人情報保護するための対策が適切であったか。			☆			3	
	安全対策	・日常の事故防止など安全対策が適切であったか。			☆			3	
	危機管理	・防犯、防災対策など危機管理体制が適切であったか。				☆		4	
利用者のサービス向上への取り組み	利用拡大	周知活動	・施設目的の達成のための効果的な営業、広報活動、情報提供等がなされたか。			☆			3
	利用者満足度	サービス向上	・利用者サービスの向上や利用促進への取組がなされたか。			☆			3
		自主事業	・利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。				☆		4
		受託事業	・受託事業は適切に実施されたか。			☆			3
		改善運動	・アンケートの実施など、利用者の意見、要望を聴き、管理運営に反映されたか。			☆			3
経営状況	収支等実績	収入確保	・収入増加のための取組がなされたか。				☆		4
		収支計画との整合性	・収支状況は当初収支計画と整合しているか。			☆			3
		安定経営	・安定的な経営が行われたか。			☆			3
		経理状況	・月別報告、四半期報告など、経理事務は適正に処理されたか。			☆			3
評点合計				標準	60	加算	3	63	
審査結果	市への報告や情報提供を欠かさず、適正な維持管理及び安定的な運営が行われるとともに、施設に不具合が生じた際には、役割分担のもと迅速に修理・修繕を行われました。利用者サービス向上の観点では、新型コロナウイルス感染症対策として策定した独自のマニュアルに基づき、こまめな消毒・除菌の呼びかけや飛沫防止パネルの追加設置、薬剤の散布など、感染症対策の強化を行い、来館者が安心して利用することのできる環境づくりに取り組まれました。新型コロナウイルス感染症の影響に加え、原油価格・物価高騰等の予期せぬ費用の増加があった中、自主事業の実施等を通じた収入の増加や支出の見直し、市からの補償金等により、安定した経営となりました。		年度評価		A				
【各年度の評価】		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	総合評価		
		A	A						
総評									